



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.22 October 10, 2010

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。



ジョークと私

ゴルフのジョーク

深澤 満穂



スポーツの中でジョークが登場するのは圧倒的にゴルフである。柔道、剣道、陸上、野球などでジョークには滅多にお目にかからない。ゴルフをされない方にはご容赦を。

1 私の所属している「相模カンツリークラブ」は「ゴルフ気狂い老人クラブ」である。今年の猛暑の中でも元気にスタートしていく。でも6番の茶屋に着いてさすがにぐったり、青息吐息。「おい、今日はやめようや」と衆議一決。程なくカートが到着。キャディーが一言。「お客様、お迎えが参りました」。

2 クラブの友人に面白いお爺さんがいる。「深澤さん、私もあと何年ゴルフがやれるかわからないが、一度天国にもゴルフ場があるかどうか、調べてこようと思うんだ」「あぁいいですね。分かったら教えて下さい」。天国に行かれた彼氏、「神様、神様、天国にもゴルフ場があるかどうか教えて下さい」「少々お待ちを」と言った神様が直ぐ現れた。「良い話と悪い話があります」「良い話からお願いします」「お喜びなさい、天国にも沢山ゴルフ場があります。選り取り見取りですよ」「じゃあ、次は悪いほう」「そのゴルフ場の一つで、来月のスタート表に貴方の名前が書いてあります」

3 もう何十年も前の話。あるゴルフ場で私の会社の偉い人のコンペがあった。その中に理学博士、工学博士と言う肩書きで、ゴルフを始められたばかりのお方がおられた。1番パー4、385ヤード。ビギナーばかりで飛ばないのに、白でなく青マークから打っている。先生のティーショット、振り上げエイッ！と振り下ろせば、哀れ無残やな殆ど空振り、球はコロコロ転がってやっとティーグラウンドを降りた所。一行の間に同情と気まずい空気が流れる。ところが、ご当人は少しも気にせず、

球の所まで歩くとおっしゃったね、「キャディーさん、後いくら？」。その声やよし！

4 A crazy golfer confessed to one of his friends. "My wife says that she will divorce me if I will not quit golf." "Oh, that's a very difficult choice!" "Yes, indeed! I shall miss her very much."

5 もう40年も昔のアメリカでの話。女子プロと組んだベストボールの試合があった。私は不調、美人で若い女子プロが大活躍、アウトをツアーアンダー。ところがインの17番、突如乱れてボギーも危ない状況。その時私が長いパットを決めて何とかピンチを救った。急に彼女が飛んできて私をハグ、頬にキスしてくれた。私はもう舞い上がってしまい、後はどうなったか全く記憶がない。表彰式でわが組は3位であった。女子プロが指名されたが代わりに私が何か言えと言う。その折の私のスピーチ: "My biggest surprise today is that Mary kissed me on the 17th green, when I got a par. You see, just a par! I am now stretching my imagination what her prize would be if I got a birdie or an eagle."

6 もう50年も前、サラリーマンの間でゴルフがはやりだした頃、信じられないような愉快な話が沢山あった。練習場でみっちり稽古を積んだ上司を砧のゴルフ場にお連れした。1番のティーグラウンド。「オーイ、球！」お古を渡す。ついで「オーイ、球を乗せる奴！（ティーのこと）」世話の焼ける御仁であった。

ゴルフを始めて2ヶ月の新米氏「深澤さん、僕もツーオンするようになりましたよ」「何処のコースか知らないが、始めて2ヶ月でツーオンすれば上達が早いよ」「昨日なんかですね、4つのショートホールのうち3つつもツーオン」。

第 22 回研究発表会

国際会議で見た、聞いた、言った…

—ジョークと文化交流の難しさ—

服部 陽一

国際会議では色々な国の人々が英語で討論、交渉、商談などを行います。この中には英語を母国語としない人達も多く含まれています。英語を母国語とする人達は、そんなことは気にせずに盛んにジョークを飛ばしますが、英語を母国語としない人達も負けずに応酬します。これらのジョークのなかには自国の文化や習慣が織り込まれたり、スラングが使われたりするので、お互いに誤解したまま話が進むことが多く、ユーモラスな情景が見られます。今回はこのような場面をいくつか取り上げて報告しました。

My father is koki this year. He is 70.

Ah bon! My father is coquet too. He is armanian and actually pretty hip.

これは日本人が、自分の父親が今年 70 歳で古稀 (コキ) だと言ったのに対し、フランス人が、自分の父親 coquet (おしゃれ) だと言っている。armanian はアルマーニを愛用している人、hip は流行を追う人。もう一人のフランス人が；

Ah bon! My uncle has been cocu for a long time. He used to be a business bachelor.

と答えた。自分の伯父は永い間 cocu (妻を寝取られた男) だった。彼はずっと単身赴任していたからと応じた。どちらもコキをフランス語として聞いた。

I hate to see models with no butt and nothing but mosquito bites in front.

Ok sir, we'll burn coils around the stage and wait for them with kinchor.

Kinchor? Does it swell their boob?

ファッションショウの会場でマネージャが、胸



のふくらみがほとんどない (mosquito bites in front) モデルは駄目だと言ったのに対し、部下が会場に蚊がいて困ると言っていると誤解し、ステージで蚊取線香を焚き、キンチョールを持って待機すると答えた。マネージャはキンチョールがモデルの胸を膨らませる特効

薬かと思ったらしい。(butt:しり、boob:おっぱい)

Are you fond of tongue, sir?

Yes, I was always fond of tongue, madam, and I like it still.

ディナーパーティーで同じテーブルに座ったイギリス紳士とフランス人の奥様の会話。その夜のメインディッシュがタンシチューだったので、奥様は紳士にタンはお好きですかと聞いた。紳士は、タンは昔からずっと好きで、今でも好きです、と答えた。

しかしこの答えは、私は静かな話ぶり (tongue) が好きです、ともとれる。この奥様はかなりおしゃべりで、うるさかったようだ。

How many times do you spend in the train?

Once or twice occasionally, but I need some special pulp mag. Usually, I do it in bed.

Do you come fast in the morning?

Yes, I come very fast, and at night too.

プリンストンからニューヨークに車で通勤しているというアメリカ人の副社長に対する日本人の質問。車の中で何時間過ごしますかというつもりが、何回射精 (spend) しますか、と聞いている。ユーモアたっぷりの副社長は、時には 2, 3 回だけど、その場合は特別な雑誌 (pulp: 低級な) が要るよ、いつもはベッドの中ですよ、と答えた。さらに、会社には朝早く来ますかというつもりが、朝は速くイキ (come) ますかという質問になり、副社長はとても速くイクよ、夜もね、と答えて周りにウインクした。

第6回ジョーク・コンテスト観戦記

笑いの閾値を下げよう

笠井 進

私の知人に、元日本人外交官がいる。外交官になりたての頃、ヨーロッパの国々の外交官との晩餐会があった。各国の大使夫人が、男と女に関するジョークを次々と披露する。皆が笑う。笑いのつぼを聞きのがさないように、必死に聞き耳を立てる。ディナーを味わう余裕がない。笑うためにとっても緊張して疲れたようだ。

パーティでは、政治に関するジョークはわかりやすいが、男女のジョークは、一瞬わからない時があったそうだ。彼はその時のジョークを二つ英語で話してくれたが、オチを聞いてやっと理解できた始末だ。欧米人は、日本人より笑いの閾値が低いといわれている。

9月18日のジョーク・コンテストは、花岡会員の司会で始まった。無理に笑わなくてもよいので、とてもリラックスできた。コンテストの前に服部会員のユーモア溢れる講演があったせいもある。花岡会員は穏やかな口調でそれぞれのジョークのコメントをなさった。難しいジョークは三日間も考えたとおっしゃる。根気に脱帽します。解説を聞いてもわからない難解なジョークもあった。

ジョークの多くは男と女についてであった。神はジョークをつくり易いように、男と女をつくったのかな？ 女が強烈な言葉を男にあげせる。びくっとするところが面白い。

票を多く集めたジョークを、三つ、オックスフォード大学卒、25歳、ブロンドのドイツ人女性に感情を込めて英語で言ってみた。声を出して笑った。しかも、すばやい反応だ。日本人よりかなり早い。笑いの閾値が低い。0票の男女のテーマ以外のジョークも試した。やはり笑う。日本人もジョークに対する笑いの閾値を下げよう。

第6回ジョーク・コンテスト

とかくこの世はまならぬ

小池 温

9月18日の例会で、あるジョークを巡り実に意外な面白い展開を目の当たりにし、「ジョークはやはり奥が深い」「これだからジョークは止められない」と感じたので、そのシーンの再録をしてみました。

コンテストに、“What’s the difference between beautiful and ugly? A:Eight beers”を出題しました。私は、このジョークは「ビールをたくさん飲んでいい気持ちになると、ブスも美人に見える」というのが、このジョークの意味するところだと思って出題しました。これは日本にも「日頃はブスとおぼしき女房や居酒屋の女将も、酔っ払うと別嬪に見える」との落し話（落語等）があることを覚えていたからです。

ところが、この出題が、会場のスクリーンに映し出されると（イラストはビール腹のオヤジでした）、複数の会員が「8杯ものビールを飲み続けるとデブになるのねー！」と、いま流行りの「メタボ現象」を皮肉つたものと、コメントされました。

私も、「飲酒が過ぎるとスマートな美形もビール腹となる」との「メタボ説」は、少数派としてあるかなとは、思っていましたが、私が多数派と考えていた「ブス・美人説」に、誰も触れなかったのには愕然としました。

出題者はコンテスト投票前には、コメントできないとの会のオキテあり、やむなく会員の発言を黙って見守り、極度の苦痛とフラストレーションを感じました。

投票終了後、私は即座に「多数説かと信じていたブス・美人説にどなたも全く関心を示されなかったのは、これいかに」と、涙ながらに訴えざるを得ませんでした。

帰宅してから、「何故ブス・美人説」が、会員諸氏に黙殺されたのか？」に思いを馳せたのですが、深刻に解釈すると、どうやら、メタボ対策華やかな時代ゆえ、“ugly”なる単語が強いインパクトを与え、“beautiful”という単語が虚構化したからかも知れません。

語順が“beautiful and ugly”だったので、焦点が「ugly =メタボ」に行ってしまったのか。もし語順が逆に“ugly and beautiful”だったら、「ブス・美人説」も受け入れられたのかとも思い起こしました。イラストにミスリードされた人もいたのかも。

それにしても、もう1つの出題“Children in the dark cause accidents. Accidents in the dark cause children.”は、投票前にはどなたもコメントしなかったのにも拘わらずそれなりの得票を得たのに、若干の話題を提供した“beautiful and ugly”の方には、投票が集まらなかったことにもビックリしました。

ジョークの世界には、何が起こるか分からず、だからこそ「ジョークは止められない」と再認識した次第です。

ホームレスの日米気質

宮本倫好

日本人のジョーク下手は、ひたむきさ、勤勉さがアダのような気がします。新宿駅にホームレスがたむろしていた頃、新聞は愚か、分厚い本を熟読している人がいるのに「信じられない」という感想を寄せた外人観光客もありました。日本人のこういう知識欲あふれる生真面目さは、世界に誇る貴重な資源かも知れませんが、自己主張の弱さ、ゆとりのなさにも通じるでしょう。

その点西欧では、ホームレスもずっとしたたかに開き直って権利を主張します。以前ロンドンにいた頃、squatter と呼ばれるホームレス・グループが空きビルを占拠する事件が相次ぎました。住を保障するのは政府の責任だから当然の権利行使だという主張で、世間もかなり同情的だった気がします。

ワシントンでホームレス対象の給食ボランティアをしたことがあります。市民の寄付を教会が取り持つのですが、彼らは当然のように黙々として食べ、黙々として去る。卑屈感もない代わりに、関係者への会釈さえないのに、私は「ホームレスもここでは堂々たるものだなあ」と感心した記憶があります。

そこでインターネットで見つけた homeless joke の例を紹介しましょう。

One of my buddies pulled up beside a homeless man with a sign that said “Jokes 25 cents.” My buddy pulled out a dollar and said, “OK, shoot.” This is the joke he got. “Why are there no Wal-Marts in Iraq? ‘Cause everything is a Target.”

Wal-Mart は世界最大の小売チェーン。Target も有名ディスカウント・チェーンで、ここでは「テロの標的」という意味にかけています。ジョークとしてはまあまあですが、「オレのジョークを買え」と、ホームレスがカネを出す人と対等の関係になっているのが、かの地の人らしいと思います。



←ここに紹介するホームレスの写真は、ニューヨーク在住の米国人友人が送ってくれたものの一部です。なかなかたくましく図太く、しかも彼らのユーモアのセンスも捨てがたいものがあります。

どうぞよろしく＝新入会員自己紹介＝

菅生宏一 さん 東京都小平市 (小平霊園の線路を隔てた反対側)

①私にとってのジョークとは、下記のようなもの :

I wake up every morning at nine and grab for the morning paper. Then I look at the obituary page. If my name is not on it, I get up.

(私は毎朝9時に目をさますと、すぐ朝刊を手取る。そして、死亡広告を見る。自分の名前がそこに出ていなかったら、起きることにしている。)

② 私のお気に入りジョーク

• I'll tell you how to stay young—hang around with older people.

(若さを保つ秘訣を教えてあげようか。自分より年上の人達と付き合うことだよ。)

• You know you're getting older when the candles cost more than the (birthday) cake.

(バースデーケーキよりもロソクのほうが高くつくようになったら、もう歳だね)

• No woman wears makeup for her husband.

(どんな妻たちも、決して良人のためには化粧しない)

• Sex is the most fun you can have without smiling.

(セックスって、にこりともせずに楽しめる最高の楽しみだね。)

◆第23回研究発表会のご案内は、QUESTION BOX SUPPLEMENT のp.4に掲載しました。

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報 第22号

発行日：2010年10月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河 1-4-5 平和第一ビル
クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com